全

【3年】

6画

ながく

くん まったく　おん ゼン

なりたち 王は玉の古い字形。入は家の屋根の形。山から掘り出された玉が家の中におさめられている意味の字で、きずのない立派な玉を表した字。〝完全無欠〟のこと。転じて、〝まったく・すべて〟の意味に使う。

いみとじゅくご

▼欠けたところがない。

完全…欠けたところがまったくないこと。例完全無欠

万全…少しも手落ちがないこと。用例万全の策を講じる。

全人…知恵も徳も備わった欠点の無い人。例全人教育

▼まったく。すべて。

全部…すべて。みんな。

全力…ありったけの力。用例全力を尽くす。

全治…病気や傷がすっかりなおること。例全治二週間

全幅…布のはばいっぱいの意味から転じて、ありったけ、すっかり。用例全幅の信頼を寄せる。

全訳…ある外国語の文章を全部翻訳したもの。

よみかた 全員・全快・全額・全巻・全権・全焼・全盛・全然・全知全能・全般

栓

10画

ながく

くん　おん セン

なりたち 完全の意味の全と木との会意形声字。穴を完全にふさいで〝少しのすきまもないようにあてる木の器具〟のこと。転じて、水道管などの〝末端の開閉装置〟。

いみとじゅくご

▼穴やびんなどの口をふさぐもの。

脳血栓…脳の動脈硬化のために、血管がつまってしまう病気。

▼水道管などの末端の開閉装置。

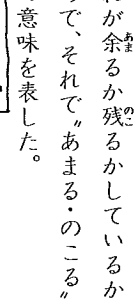
消火栓…消火用の水道栓。

給水栓…水を供給する栓。

余

【5年】

7画



はねる

くん あまる・あます　おん ヨ

なりたち 餘の略字。余の八が分ける意味を表し、食べ物を分けるという意味を表した字。食べ物を分けるのは、それが余るか残るかしているからで、それで〝あまる・のこる〟の意味を表した。

いみとじゅくご

▼あまる。のこる。あまり。

余剰…余り。のこり。例余剰物資

余勢…あることをした後の、あまった勢い。用例余勢を駆って一気に攻めたてる。

余徳…死後にまで残る立派な行い。また、そのおかげで受けるめぐみ。用例先祖の余徳。

余力…あることをし終えてもまだ余っている力。用例あのようなきつい仕事をしたので余力がない。

▼ほか。

余念…ほかのことを考えること。用例勉強に余念がない。

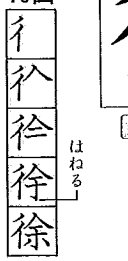
▼第一人称の代名詞。われ。

余輩…自分。われ。われら。

よみかた 余韻・余暇・余興・余情・余震・余人・余生・余熱・余命・余裕・窮余

徐

10画



はねる

くん　おん ジョ

なりたち 余る（余裕）の意味の余と、行く意味の彳との会意形声字。〝余裕をもって行く〟という意味の字。〝ゆっくり〟と行くこと。転じて、〝ゆっくり・おだやか・しずか〟の意味に使われる。

いみとじゅくご

▼ゆっくり。おもむろに。しずかに。

徐行…ゆっくり進むこと。例徐行運転

徐徐…ゆっくり。少しずつ。そろそろ。用例徐々に量を増やしていく。

緩徐…ゆるやかで静かなこと。例緩徐楽章（音楽で、おだやかな調子で演奏される楽章。アダージョ。）